

気仙沼高等学校 SGH プログラムの中間発表会に参加しました(2017/11/15)

テーマ：スーパーグローバルハイスクール，防災教育
場所：宮城県気仙沼高等学校（宮城県気仙沼市）

11月15日（水）に、宮城県気仙沼高等学校にて1学年による「地域課題研究」中間発表会が開催され、当研究所の佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）がアドバイザーをつとめました。同校は、スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定校の一つになっています。SGHは、文部科学省の事業で、高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養，コミュニケーション能力，問題解決力等の国際的素養を身に付け，国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としているものです。気仙沼高校は、「海を素材とするグローバルリテラシー育成～東日本大震災を乗り越える人材をめざして～」というプログラム名で，SGH事業に採択されています。今回は，SGHプログラムで実施されている「地域課題研究」の一環での訪問になります。「地域課題研究」は，同校生徒が3～4名のグループになり，プログラムに関連する任意のテーマについて研究・発表を行うものです。

佐藤翔輔准教授は、「海と防災」をテーマとする12件の研究発表に対して，問題の位置づけ，情報の内容，論の構成，発表態度・資料などの観点から評価を行うとともに，今後の最終発表にむけての具体的なアドバイスを行いました。昨年度にひきつづきの事業でしたが，より質の高い発表や活発な議論が行われていました。



中間発表会の様子（会場：海と防災）

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）